



佐野文夫
プロフィール
FUMIO SANO
Profile

- 1918年(大正7年) 河沼郡勝常村(現・湯川村)生まれ
- 1936年(昭和11年) 福島県立会津中学校卒業(現・会津高等学校)
- 1941年(昭和16年) 東京美術学校卒業(現・東京芸術大学)正木賞受賞
- 1942年～1946年(昭和17年～21年) 応召(南支那方面)
- 1949年(昭和24年) 清水多嘉示に師事
- 1950年～1953年(昭和25年～28年) 日展入選、福島県展知事賞3回受賞
- 1954年(昭和29年) 日展と決別、自由美術展に3回入選
- 1956年(昭和31年) 自由美術協会会員となる
- 1957年～(昭和32年～) 自由美術展、福島県展、埼玉県展等毎年作品を発表自由美術協会会員、日本美術家連盟会員、福島県展審査員、同運営委員埼玉県展審査員、会津俊英展・風121展運営委員、湯川村名誉村民
- 2002年(平成14年) 9月逝去 享年84歳



- 1926年(大正15年) 河沼郡茨川村(現・湯川村)生まれ
- 1945年(昭和20年) 福島県立会津中学校卒業(現・会津高等学校)
- 1948年(昭和23年) 現・大学法人山形大学工学部卒業後松竹大船撮影所撮影部に入社
- 1964年(昭和39年) 山田洋次監督の映画『馬鹿まるだし』で撮影監督としてデビュー
- 1991年(平成3年) 『息子』で日本映画技術賞、毎日映画コンクール撮影賞、日本映画アカデミー優秀賞受賞
- 1992年(平成4年) 紫綬褒章受賞
- 1993年(平成5年) 『学校』で日本映画技術賞、日本映画アカデミー優秀賞受賞
- 1995年(平成7年) 10月31日逝去、勲四等旭日小授賞受賞
- 1996年(平成8年) エランドール・毎日映画コンクール・日本映画アカデミー協会会長各特別賞受賞



高羽哲夫
プロフィール
TETSUO TAKAHA
Profile

高羽哲夫展示遺品紹介
『男はつらいよ』を始めとする高羽氏使用の脚本、映画ポスター、撮影アルバム、映画パンフレット、大入り袋、ご本人使用の衣類、小物などが展示。



北田城絵図



北田城跡出土品/村指定文化財



浄法寺石製の礫石経塚/村指定文化財



四耳長壺/村指定文化財



文化財展示コーナー

北田城跡出土品の杯・甕・土師器・須恵器をはじめ、絵図・浄法寺境内の石製経塚の中にあつた礫石、復元した細文土器などを展示。

湯川村展示文化財コーナー



地域活性化施設 湯川たから館

〒969-3556 福島県河沼郡湯川村大字勝常字堂後830番地
TEL.0241-27-8484 FAX.0241-27-3992(湯川村商工会)

発行 | 湯川村 〒969-3593 福島県河沼郡湯川村大字茨川字長瀬甲875番地5
TEL.0241-27-8800 FAX.0241-27-3760

地域活性化施設

湯川たから館

佐野文夫遺作品・高羽哲夫遺品展示

湯川村名誉村民の彫刻家佐野文夫氏の遺作品、
『男はつらいよ』シリーズの撮影監督高羽哲夫氏の遺品、
村内で出土した土器などの文化財を展示しています。
まさに湯川村の「たから」が展示してあります。



※時期により一部展示内容が変更となる場合があります。



佐野文夫展示作品一覧

- <彫刻>
 「蝶」F R P
 「ひととき」石膏原型
 「やすらぎの像」エスキース
 「腰をかけた裸婦」F R P
 「母子像Ⅰ」石膏原型
 「母子像Ⅱ」石膏原型
 「座る」石膏原型
 「若わし」ブロンズ
 「太陽の子」石膏原型
 「弾く」テラコッタ
 「カ土」石膏原型
 「裸婦Ⅰ」石膏原型
 「脱」石膏原型
 「ビーチの女」石膏原型
 「望」ブロンズ
 「K子像」石膏原型
 「春」石膏原型
 「聖観音像」石膏原型
 「GUGON」石膏原型 他

- <レリーフ>
 「リズム」テラコッタ
 「風の神」テラコッタ
 「風の子」テラコッタ
 「浜辺の女」テラコッタ
 「美神」テラコッタ
 「レダ」ブロンズ彩色
 「殉教」ブロンズ彩色
 「レダ」ブロンズ彩色
 「ケンタウルス」ブロンズ彩色
 「森の中のレダ」石膏彩色
 「殉教」石膏彩色 他

- <色紙>裸婦
 <油絵>海辺
 <絵手紙>十二支
 <デッサン>4枚所 他



石膏原型/石膏
「ひととき」

デッサン画



佐野文夫
FUMIO SANO



彫刻/FEP
「腰をかけた裸婦」



彫刻/FEP
「蝶」



レリーフ
「風の神」テラコッタ



レリーフ
「浜辺の女」テラコッタ



絵手紙「十二支」



映画公開時のパンフレット

高羽氏使用の映画脚本
 脚本にはご本人直筆の書き入れがあります。



「男はつらいよ」の当時の映画ポスターを展示

高羽哲夫
TETSUO TANAKA



高羽氏使用の衣類他
 映画の撮影時に使用した
 ジャンパーやシャツなどを展示



頭の良い人はいる。高い教養や豊かな創造力の持主もいる。しかし、高羽さんのように、すべてを合わせ持った人は、めったにいないものではない。この人を仕事の伴侶に得たばかりは、はかりしれぬ果報者だった。ぼくが彼を独占してはいけない。彼はもともとと優れた仕事を残したかもしれない。高潔、という、今は死語になりつつある言葉にふさわしい生涯を生きた人だった。あらゆる意味で、一流の人だった。

一九九五年十二月三十日

男はつらいよ、寅次郎紅の花の撮影現場にて

山田洋次

◆高羽哲夫年譜 — TETSUO TAKAHA Biographical sketch

- 1926年(大正15年) 河沼郡笈川村(現・湯川村)生まれ
- 1945年(昭和20年) 福島県立会津中学校卒業(現・会津高等学校)
- 1948年(昭和23年) 現・国立大学法人山形大学工学部卒業後松竹大船撮影所撮影部に入社
- 1964年(昭和39年) 山田洋次監督の映画『馬鹿まるだし』で撮影監督としてデビュー
- 1991年(平成3年) 『息子』で日本映画技術賞、毎日映画コンクール撮影賞、日本映画アカデミー優秀賞受賞
- 1992年(平成4年) 紫綬褒章受賞
- 1993年(平成5年) 『学校』で日本映画技術賞、日本映画アカデミー優秀賞受賞
- 1995年(平成7年) 10月31日逝去、勲四等旭日小授賞受賞
- 1996年(平成8年) エランドール・毎日映画コンクール・日本映画アカデミー協会会長各特別賞受賞

当湯川村出身の故高羽哲夫氏は、撮影監督として山田洋次監督とコンビを組み『男はつらいよ』シリーズをはじめ数々の作品で日本映画界に大きな業績を残されました。ふるさとの先輩、高羽氏をより多くの皆様を知っていただき、映画づくりにかけた思いが伝わればとの趣旨のもと、ご遺族から寄贈いただきました品々を展示公開させていただきますことになり記念館を開館いたしました。



佐野文夫作「蝶」FRP



地域活性化施設
「湯川たから館」
湯川村の農産物を使った加工品を作る施設に、湯川村名誉村民の彫刻家佐野文夫さんの作品、『男はつらいよ』シリーズの撮影監督高羽哲夫さんの遺品、村内で出土した土器などの文化財を展示しています。まさに湯川村の「たから」が展示してあります。



Issue
Museum
Memorial

発行 | 湯川村教育委員会
〒969-3544 福島県河沼郡湯川村大字清水田字長壽17番地
TEL0241-27-2250 FAX0241-27-8765

地域活性化施設 | 湯川たから館
〒969-3556 福島県河沼郡湯川村大字勝常寺堂後830番地
TEL0241-27-8484 FAX0241-27-3992(湯川村商工会)

高羽記念館 | 末廣酒造(株)嘉永蔵内
〒965-0861 福島県会津若松市日新町12-38
TEL0242-27-0002 FAX0242-27-0003

撮影監督

高羽哲夫 遺品集

山田洋次監督と共に歩んだ映画人生



TETSUO TAKAHA
Articles left by the departed collection





高羽氏使用の映画脚本(130冊)

撮影監督デビュー作品『馬鹿まらだし』をはじめ『男はつらいよ』シリーズ48作など展示。脚本にはご本人直筆の書入れがあり、ここからも映画にかけた情熱が伝わってきます。



各種受賞された賞状、副賞(32点)

1992年、1994年日本アカデミー賞撮影賞をはじめ数々の受賞された賞状などを展示。撮影技術の高さがここからも見えます。



映画パンフレット(51点)

映画公開時のパンフレットは当時を思い出させます。

※『男はつらいよ』シリーズのポスター(瀬川村所有)の展示もいたします。



大入袋、JSCバッチ他

なかなかお目にかかれない大入袋や実際に使用していたバッチ、名刺、会員証など展示。



撮影アルバム(45冊)

作品毎にまとめてある映画撮影時のスナップ写真のアルバムです。映画では見られないシーンを見ることが出来ます。



書籍(213点)

なかでも『映画技術』はNO.1からNO.160まで揃っています。常に研究されていた姿が偲べれます。



高羽氏使用の衣類、小物他

愛用の皮製靴や帽子、カメラ、映写機、ジャンパー等展示。大事な台本を入れた規子夫人手作りの台本かばんも展示。

